

いちまるご  
ほっとふっと 105 ~日本一長い足湯~

毎月、島原半島内のジオサイトやその見どころなどを紹介するこのコーナー。今回は雲仙市小浜町にある「ほっとふっと105」について紹介します。

小浜温泉

雲仙市小浜町にある小浜温泉は、日本で最も数が多い「ナトリウム・塩化物泉」(旧泉名は食塩泉)に分類されるアルカリ性の温泉です。入浴後、皮膚に付着した塩分が汗の蒸発を抑えるために、保温効果がよく、湯冷めしにくいという特徴があります。小浜温泉の特徴は、島原半島の他の地域には見られない、高い湯温と豊富な湯量です。小浜温泉は橘湾の地下約15キロメートルにあるとされる雲仙火山のマグマだまりに近い場所にあることに加え、このマグマだまりからもたらされる高温の火山ガスが、雲仙の山から伏流する豊富な地下水や海水と混ざるために、高温の温泉が大量に湧き出すのです。

ほっとふっと105

平成22年2月2日、この豊富な温泉を利用して、小浜マリナーパークの一角に誕生したのが、105メートルという日本一の長さを誇る足湯「ほっとふっと105」です。末尾の「105」という数字とその足湯の長さは小浜温泉の源泉温度にちなんだものです。



ただし、小浜温泉のお湯は、そのままでは熱すぎるため、湯棚で適温まで冷ましてから利用しています。

この足湯は浸かるだけではありません。足つぼをマッサージしながら足湯の中を歩くことができる「ウォーキング足湯」やペットも温泉が楽しめる「ペット足湯」もあります。実は、足は心臓から最も遠いため、代謝が促進されず、無駄な水分や老廃物がたまりやすくなります。そこで足を足湯で温めれば、血行が良くなるために代謝が促進され、むくみもとれ、冷え性も解消されます。足を温めるだけで温かい血液がめぐるようにするため、体全体がポカポカと温まり、眠りが深くなり、疲労回復の効果も期待できます。「ほっとふっと105」の近くには、たくさんのお土産物屋やお店があるだけでなく、高温の温泉の蒸気を用いて食材を蒸すことができる蒸し窯もあるので、足湯につかりながらゆでたての温泉卵を食べることもできます。冬の寒い日は、オレンジ色に染まる夕日を眺めながら雲仙火山のマグマが温めた足湯を満喫し、疲れた体と心をリフレッシュしてみませんか。

次回は、「浜の川湧水」と「銀水」を紹介します。

※「ほっとふっと105」の利用時間  
4月～10月：10時～19時  
11月～3月：10時～18時  
利用料は無料。源泉の清掃に伴う休業あり。

第6回島原半島ジオパーク  
検定 (初級・中級) 開催!

とき 平成29年2月5日 日

※詳しくは広報しまばら平成29年1月号でお知らせします



←参考テキスト「島原半島ジオパークのことがわかる本」は、島原半島ジオパーク協議会にて500円で販売しています

第7回島原半島ユネスコ世界ジオパークセミナー

▶とき 12月17日(土) 13時30分～15時30分

▶ところ 西有家総合学習センター「カムス」ホール

▶参加料 無料

▶講師 宮崎大学教育文化学部の学生

▶題目 「島原の伝統的飲食文化を活用したジオツアー構想」

※平成28年度島原半島ジオパーク学術研究奨励事業を活用し研究した成果を発表します

▶問い合わせ先 島原半島ジオパーク協議会 (☎65-5540)